



＋αを考える



---

# ニッセイ 景況アンケート調査結果

---

## 全国調査結果

---

2007 年度上期調査

日本生命保険相互会社

ニッセイ・リース株式会社

協力：株式会社ニッセイ基礎研究所

# 目 次

はじめに	1 頁
〔2007 年度上期ニッセイ景況アンケート〕	
調査概要	2 頁
調査結果要旨	
I. 景気動向	3 頁
II. 雇用、設備投資、金融環境	6 頁
[参考資料]景気動向の地域別比較	8 頁
アンケート調査票	11 頁
〔特別レポート1〕	
地域景気の格差とその要因	12 頁
〔特別レポート2〕	
高齢者世帯の貯蓄率の動向	19 頁

## はじめに

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
弊社社業につきましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

日本経済の景気は、企業収益を中心に引き続き堅調に拡大しており、先行きについても緩やかな経済成長が続くことが予想されております。このような環境の中で貴社におかれましても様々な経営戦略をご策定のことと存じます。

弊社では、今後の景気動向や経済トピックス等、企業経営においてご関心が高いと思われるテーマについて有益な情報をご提供すべく、取引先企業様を中心として、**ニッセイ景況アンケート**を実施させて頂いております。

今般、ご回答頂きましたアンケートの集計・分析がまとまりましたので、結果をご報告させて頂きます。また、最近、話題となることの多い地域間格差問題と今後の増加が見込まれる高齢者の動向についての特別レポートも掲載致しております。今回の分析結果・特別レポートが、貴社の今後の経営において何らかのお役に立つことができれば、大変幸甚に存じます。

末筆ではございますが、皆様方のますますのご発展を祈念いたしますとともに、ご多忙中にも関わらずアンケートにご協力頂きました皆様方に心から御礼申し上げます。

敬 具

日本生命保険相互会社  
ニッセイ・リース株式会社

## 【調査概要】

1. 調査時点：2007年8月
2. 回答企業数：1,630社
3. 回答企業の属性（下表参照）

### 〔地域別状況〕

	社数(社)	構成比(%)
北海道	74	4.5
東北	131	8.0
関東	455	27.9
甲信越・北陸	79	4.8
東海	227	13.9
近畿	372	22.8
中国	93	5.7
四国	54	3.3
九州・沖縄	59	3.6
無回答・その他	86	5.3
合計	1,630	100.0

### 〔企業規模別状況〕

	社数(社)	構成比(%)
大企業	219	13.4
中堅企業	552	33.9
中小企業	855	52.5
無回答・その他	4	0.2
合計	1,630	100.0

(注)規模別の区分

大企業：従業員数が1000名超

中堅企業：同300名超～1000名以下

中小企業：同300名以下

### 〔業種別状況〕

	社数(社)	構成比(%)		社数(社)	構成比(%)
製造業	742	45.5	非製造業	797	48.9
素材型製造業	280	17.2	建設・設備工事	51	3.1
農林水産業	2	0.1	運輸・倉庫	89	5.5
鉱業・石油・窯業・土石	30	1.8	通信	19	1.2
繊維・衣服	21	1.3	不動産	40	2.5
鉄鋼	32	2.0	卸売	192	11.8
非鉄金属・金属製品	73	4.5	小売	166	10.2
化学	122	7.5	飲食	32	2.0
加工型製造業	462	28.3	サービス	133	8.2
食品	75	4.6	①情報サービス	29	1.8
家具・装備品・木製品	12	0.7	②専門サービス	9	0.6
一般機械・精密	95	5.8	③事業所向けサービス	62	3.8
電気機械	80	4.9	④個人向けサービス	33	2.0
輸送用機器	52	3.2	金融	43	2.6
出版・印刷	17	1.0	電気・ガス・水道	32	2.0
その他製造業	131	8.0	無回答	91	5.6

(注)①情報サービスは、ソフトウェア、情報処理、データベース等、②専門サービスは、法律、会計、設計、コンサルティング等が含まれています。それ以外の事業所向けおよび個人向けのサービスは、それぞれ③事業所向けサービスと、④個人向けサービスに分類されています。

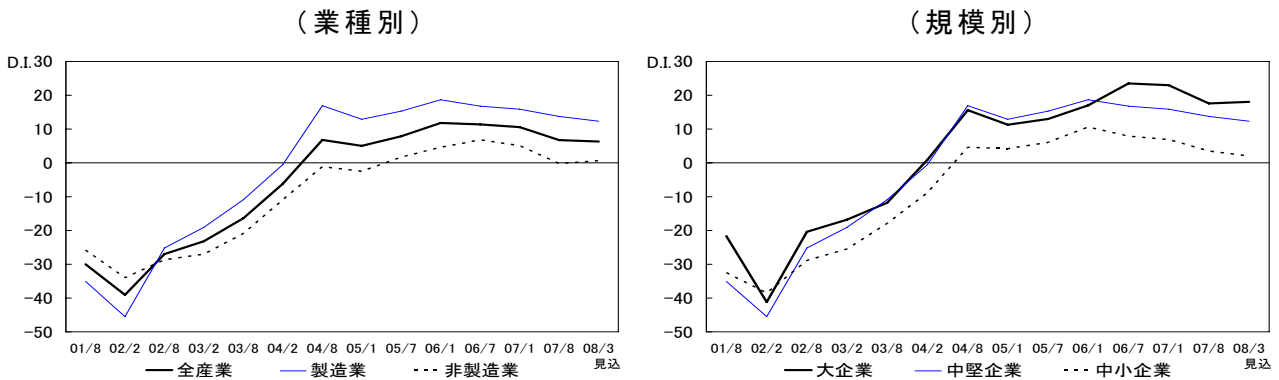
## ＜調査結果要旨＞

### I. 景気動向

#### 1. 足元の景況感は悪化、2008年3月末に向けてはほぼ横ばいの見込み

- ◆ 今回の景況アンケート調査結果(07/8 調査)では、企業の業況判断 D.I.(「良い」－「悪い」で見た指数、下表注参照)は、全産業で 6.8 と、前回調査(07/1 調査：10.6)から、3.8 ポイント悪化した。業況判断 D.I.は 4 調査連続(直近 2 年間)悪化しており、企業の景況感には停滞色が強まりつつある。
- ◆ 業種別では、製造業の業況判断 D.I.は 13.8 (前回 15.9)、非製造業は -0.2 (同 5.1) となり両業種とも前回調査より悪化した。非製造業の D.I.がマイナスとなるのは 05/1 調査以来、5 調査ぶりである。
- ◆ 規模別でも、大企業 17.6 (同 23.0)、中堅企業 7.3 (同 11.9)、中小企業 3.5 (同 6.9) と、全規模で前回より低下した。規模間における景況感の格差は依然として大きい。
- ◆ 2008年3月末に向けて、全産業の D.I.は 6.3 と、ほぼ横ばいとなることが見込まれている。業種別では、製造業の D.I.は 12.3 ともう一段の低下、逆に非製造業は 0.6 と若干のプラスに転じる見込みである。景況感の先行きについて、企業は慎重な見方を取っていると判断される。

【業況判断 D.I.の推移】



【業種別・規模別の業況判断】

	現在(2007/8)						2008/3末見込み					
						業況判断 D.I.						業況判断 D.I.
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	
全産業	11.3	22.3	38.8	21.8	4.8	6.8	7.9	23.5	43.8	20.1	3.3	6.3
製造業	14.0	26.3	36.4	18.2	4.3	13.8	10.0	27.9	40.6	16.4	3.4	12.3
非製造業	8.9	18.1	41.4	25.5	5.4	-0.2	6.1	19.1	46.8	23.6	3.3	0.6
規模別												
大企業	15.5	25.6	40.6	15.1	3.2	17.6	12.8	27.4	42.9	13.2	1.8	18.0
中堅企業	11.8	24.1	36.1	21.4	5.8	7.3	8.7	23.9	44.0	18.8	3.1	8.2
中小企業	10.1	20.2	40.2	24.0	4.7	3.5	6.1	22.1	44.1	22.7	3.7	2.1

前回調査	2007/1						2007/9末見込み					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	業況判断 D.I.	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	業況判断 D.I.
全産業	12.7	26.4	34.8	20.2	5.2	10.6	7.6	23.8	46.3	16.7	3.4	7.8
製造業	16.3	27.8	32.2	17.7	5.4	15.9	9.6	25.7	44.6	15.1	3.2	11.7
非製造業	9.2	25.1	37.2	22.6	5.3	5.1	5.7	21.4	48.4	18.3	3.7	3.5

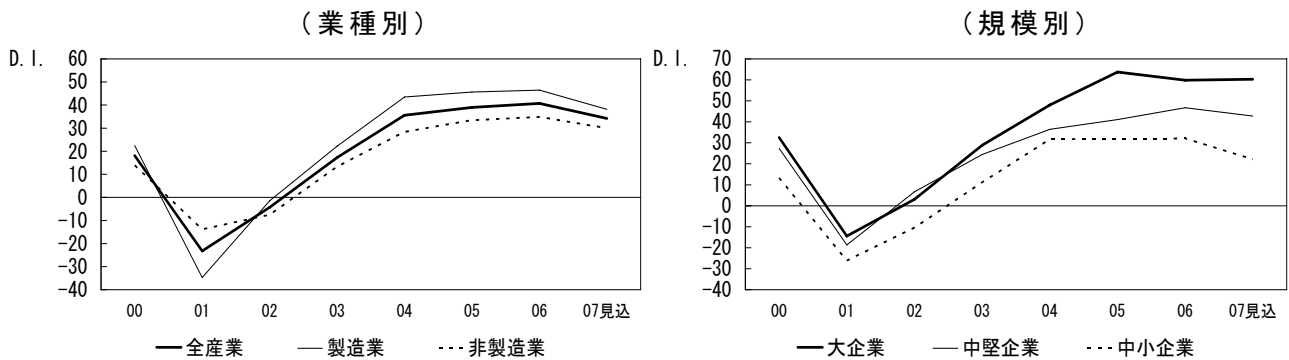
(注) ・業況判断D.I.は次の算式による。(良いと回答した企業数%) + (やや良いと回答した企業数%) × 0.5 - (やや悪いと回答した企業数%) × 0.5 - (悪いと回答した企業数%)

・無回答が若干あるため合計は100とならない。

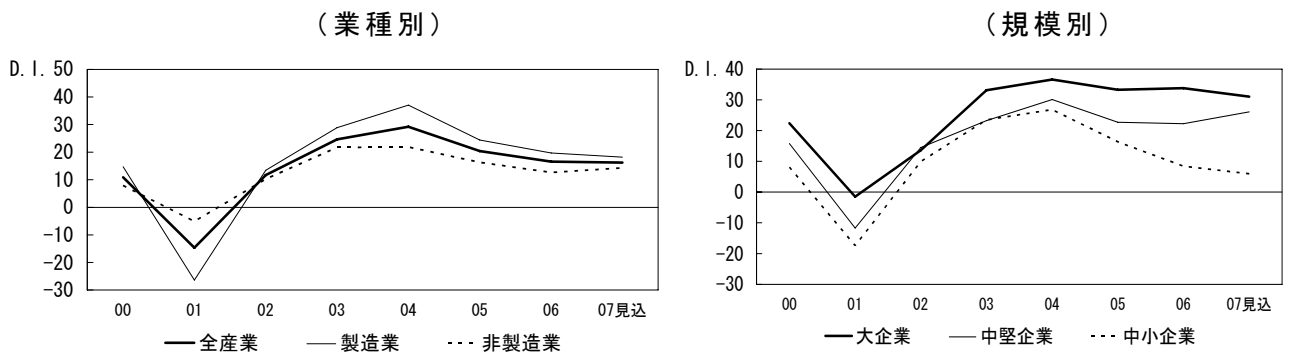
## 2. 2007年度の売上は悪化するも、経常損益は横ばいの見込み

- ◆ 2007年度見込みの全産業売上高判断 D.I.（「増収」-「減収」、下表注参照）は 34.2 と、2006年度（40.7）よりも悪化する。業種別の D.I.では、製造業の 2007年度見込みが 38.1（2006年度：46.5）、非製造業では 30.0（同：34.9）であり、2007年度は、両業種で悪化が見込まれる。
- ◆ 2007年度見込みの全産業損益判断 D.I.（「増益」-「減益」、下表注参照）については 16.2 と、2006年度（16.6）とほぼ同水準となる。製造業の 2007年度見込みは 18.2（2006年度：19.7）と悪化するも、非製造業では 14.3（同：12.7）と改善する見込みである。

### 【売上判断 D.I.の推移】



### 【損益判断 D.I. の推移】



### 【業種別の売上高・経常損益の動向】

(構成比：％、D.I.)

売上高	2006年度実績					2007年度見込み						
	連続増収	増収に転じた	前年並み	減収に転じた	連続減収	連続増収	増収に転じる	前年並み	減収に転じる	連続減収	売上判断 D.I.	
全産業	45.3	16.3	16.8	15.5	5.3	40.7	34.8	15.2	33.0	11.2	4.7	34.2
製造業	48.8	15.8	16.7	14.6	3.5	46.5	38.3	14.2	32.5	11.5	2.8	38.1
非製造業	41.7	16.9	17.1	16.3	7.4	34.9	31.4	16.2	33.6	10.9	6.6	30.0
規模別												
大企業	60.3	14.6	10.0	11.4	3.7	59.8	54.8	14.2	21.9	5.5	3.2	60.3
中堅企業	49.5	16.7	14.1	13.8	5.6	46.7	40.2	15.8	30.3	9.2	4.0	42.8
中小企業	39.1	16.4	20.4	17.8	5.6	32.1	26.4	15.1	37.7	13.9	5.5	22.1

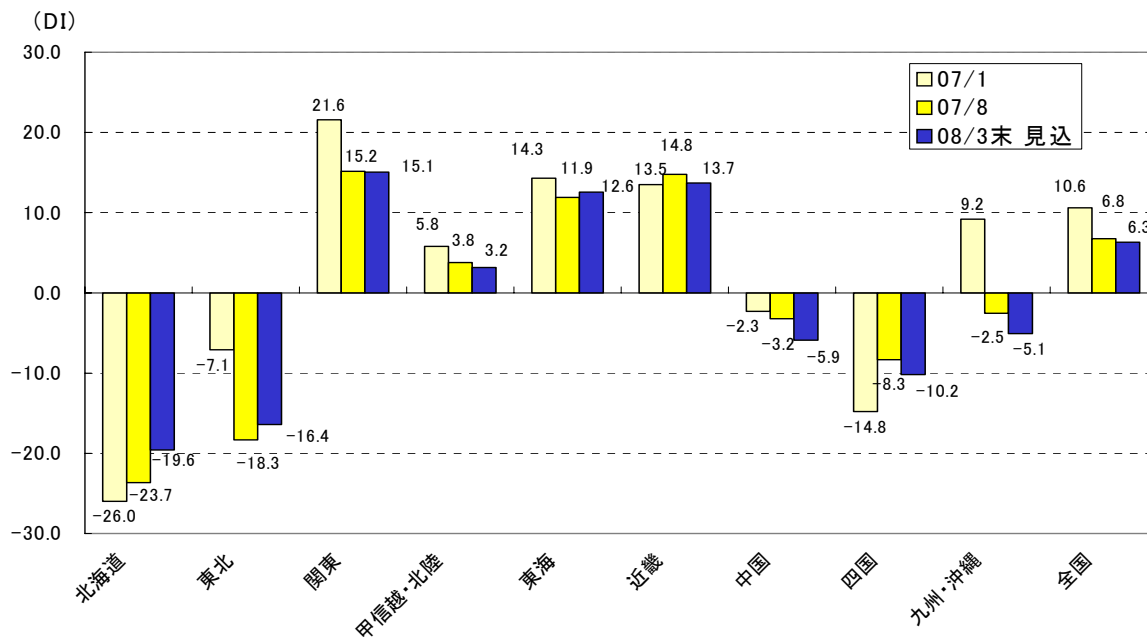
経常損益	2006年度実績						2007年度見込み					
	連続増益	増益に転じた	前年並み	減益に転じた	連続減益	損益判断 D.I.	連続増益	増益に転じる	前年並み	減益に転じる	連続減益	損益判断 D.I.
全産業	31.3	17.7	17.4	27.3	5.2	16.6	20.9	19.0	35.3	17.2	6.5	16.2
製造業	33.6	16.8	17.9	26.7	4.0	19.7	21.7	19.9	34.0	17.7	5.8	18.2
非製造業	28.9	18.4	17.2	28.1	6.5	12.7	19.6	18.9	36.3	16.9	7.3	14.3
規模別												
大企業	46.6	18.3	3.7	23.7	7.3	33.8	33.8	19.6	22.8	18.3	4.1	31.1
中堅企業	34.8	17.9	16.3	26.8	3.6	22.3	26.4	19.9	33.0	13.8	6.5	26.1
中小企業	25.4	17.4	21.8	28.7	5.7	8.4	14.0	18.2	40.2	19.2	7.1	6.0

(注) ・売上判断 D.I.= (連続増収・増収に転じた(る)企業数%) - (連続減収・減収に転じた(る)企業数%)  
 ・損益判断 D.I.= (連続増益・増益に転じた(る)企業数%) - (連続減益・減益に転じた(る)企業数%)  
 ・無回答が若干あるため合計は100とならない。

### 3. 地域間における景況感の格差は依然として解消されず

- ◆ 今回調査（07/8）における地域別の業況判断 D.I.は、北海道、近畿、四国は改善したが、他の地域では悪化した。D.I.の水準は、関東（15.2）、東海（11.9）、近畿（14.8）が高く、依然として大都市圏と地方圏の格差は存在している。
- ◆ 2008年3月末見込みの業況判断 D.I.は、北海道、東北、東海では改善するものの、その他の地域では悪化する見込みである。

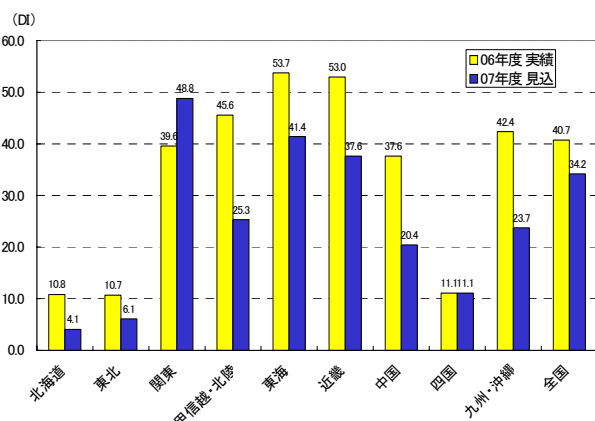
【地域別の業況判断 D.I.】



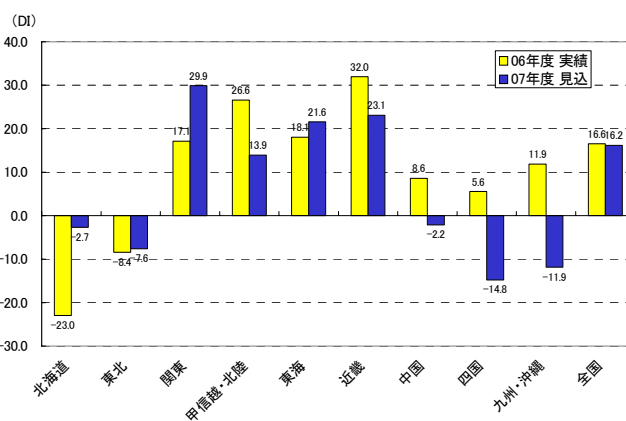
### 4. 2007年度の各地域の売上げは総じて悪化が見込まれるも、損益は地域で見方が分かれる

- ◆ 2007年度見込みにおける地域別の売上判断 D.I.では、関東は改善、四国は横ばいとなるが、その他の地域では2006年度よりも悪化する。
- ◆ 地域別損益判断 D.I.の2007年度見込みは、北海道、東北、関東、東海では、2006年度よりも改善するが、その他の地域では2006年度よりも悪化する。なかでも中国、四国、九州・沖縄の3地域では、D.I.の水準がマイナスに転じることが見込まれている。

【地域別の売上判断 D.I.】



【地域別の損益判断 D.I.】

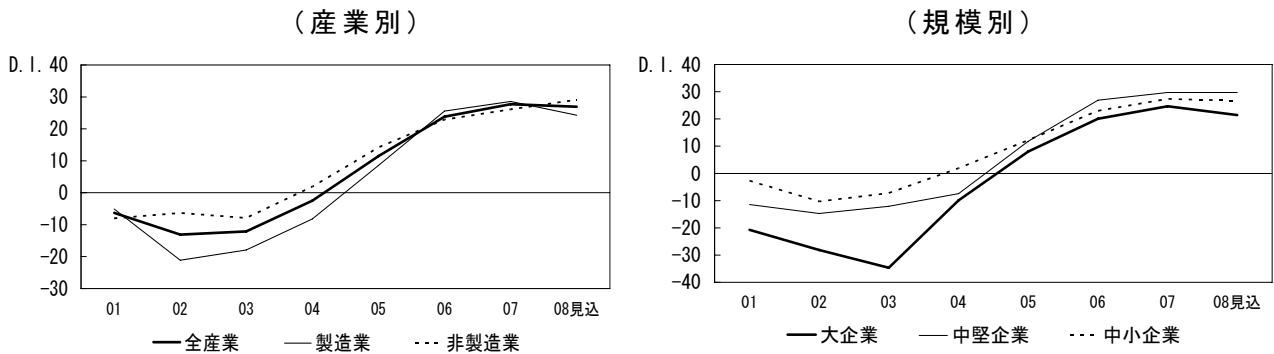


## Ⅱ. 雇用、設備投資、金融環境

### 1. 雇用の改善は一服するが、企業の増員意欲は依然として強い

- ◆ 2008年4月実績の従業員数D.I.（下図注参照）は26.9と、2007年4月実績の27.7から若干の悪化が見込まれているものの、D.I.の水準自体は高く、企業の増員意欲は強い。業種別で見ると、製造業（28.6→24.3）では悪化が見込まれているものの、非製造業（26.1→29.1）は改善する見込みである。
- ◆ 規模別で見ると、大企業（24.7→21.5）と中小企業（27.4→26.7）は低下。中堅企業（29.7→29.7）は横ばいにとどまる見込みであるが、規模間での格差は小さい。

#### 【従業員D.I.の推移】

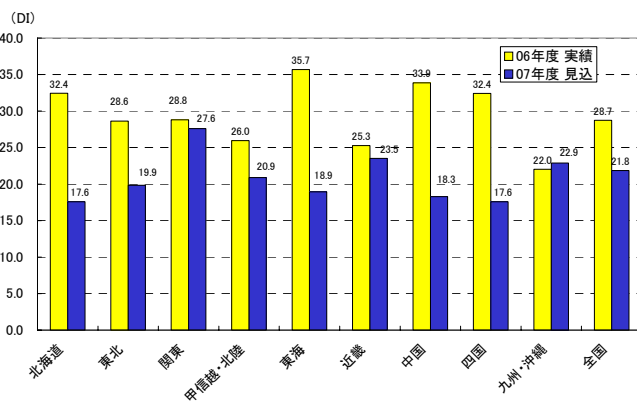


(注) 従業員数D.I.は次の算式による：(従業員を増やした(す)と回答した企業数%) - (従業員を削減した(する)と回答した企業数%)

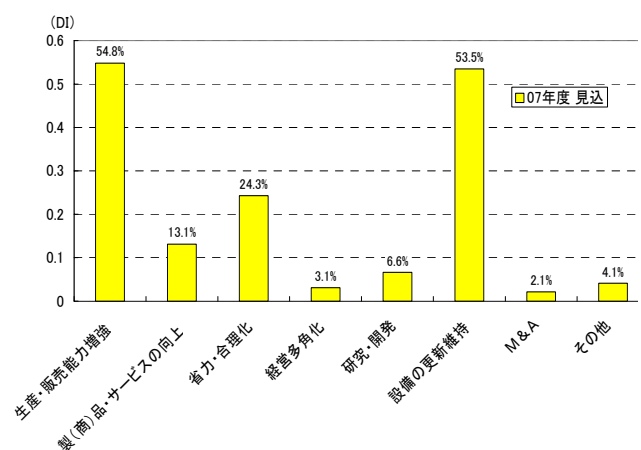
### 2. 設備投資金額の伸びは2007年度にかけて鈍化する見込み

- ◆ 2007年度見込みの設備投資金額D.I.（「増加」-「減少」、下表注参照）は、21.8と前年度の28.7から悪化する。地域別でも2007年度にかけては、九州・沖縄を除き前年度からの悪化が見込まれている。
- ◆ 設備投資の主な目的（2つまでの複数回答）としては、「生産・販売能力増強」（54.8%）、「設備の更新維持」（53.5%）が際立って多い。企業の生産能力拡大に対する意欲は依然として高いことが窺える。

#### 【設備投資D.I.(地域別)】



#### 【設備投資目的(2つまでの複数回答)】



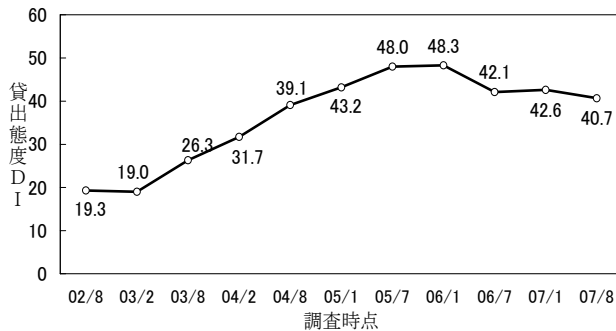
(注)設備投資D.I.は次の算式による；設備投資金額が(増加した(する)・やや増加した(する)企業数%)-(減少した(する)・やや減少した(する)企業数%)



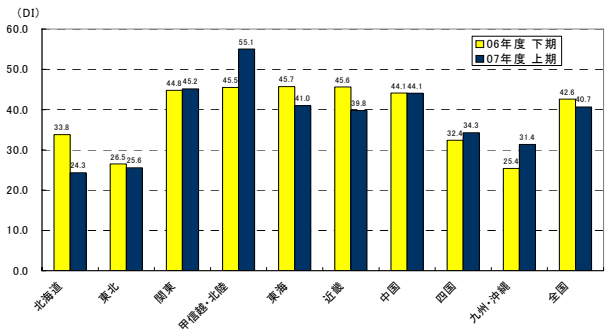
### 3. 金融機関の貸出態度は依然としてゆるい

- ◆ 2007年8月時点の金融機関の貸出態度を示す貸出態度 D.I.（下表注参照）は 40.7 と前回（07/1）よりやや低下し、貸出態度を「厳しい」とする企業数が増加した。ただし、D.I.の水準自体は引き続き高い水準を維持している。金融機関の貸出態度は依然としてゆるいと判断できる。
- ◆ 地域別では、北海道、東北、東海、近畿では前回調査よりも D.I.の悪化が見込まれており、貸出態度については地域間で見方が分かれている。

【貸出態度 D.I.の推移】



【地域別貸出態度 D.I.】

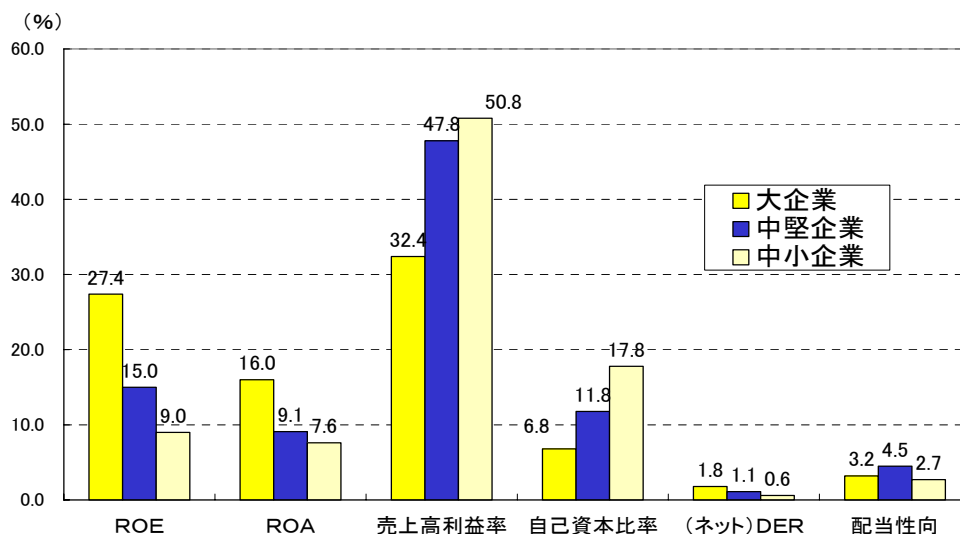


(注) 貸出態度 D.I. = (ゆるいと回答した企業数%) + (ややゆるいと回答した企業数%) × 0.5  
 - (やや厳しいと回答した企業数%) × 0.5 - (厳しいと回答した企業数%)

### 4. 現在注力している経営指標は、「売上高利益率」とする企業が多い

- ◆ 現在注力している経営指標は、企業規模を問わずに売上高利益率を挙げる企業が最も多い（大企業 32.4%、中堅企業 47.8%、中小企業 50.8%）。
- ◆ 大企業では相対的に、ROE や ROA に注力していると回答する企業が多い。一方、企業規模が小さくなるほど、売上高利益率、自己資本比率に注力する企業が多くなる傾向が見られる。

【現在、注力している経営指標について】



(注) 若干の無回答があるため合計は100にはならない。

## 景気動向の地域別比較

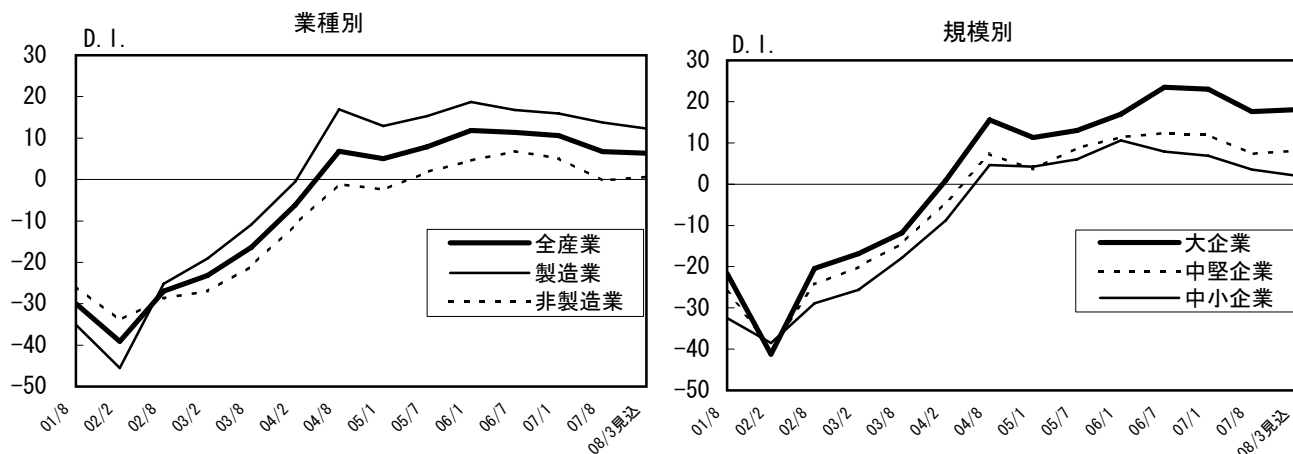
### 1. 業況(業況判断D.I.)

(構成比:%, D.I.)

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	業況判断D. I.
全国	2007/1 (前回)	12.7	26.4	34.8	20.2	5.2	10.6
	2007/8 (今回)	11.3	22.3	38.8	21.8	4.8	6.8
	2008/3末見込	7.9	23.5	43.8	20.1	3.3	6.3
北海道	2007/1 (前回)	2.6	16.9	23.4	40.3	16.9	-26.0
	2007/8 (今回)	4.1	9.5	32.4	43.2	10.8	-23.7
	2008/3末見込	2.7	9.5	43.2	35.1	9.5	-19.6
東北	2007/1 (前回)	4.2	21.0	40.3	23.5	10.1	-7.1
	2007/8 (今回)	2.3	11.5	44.3	31.3	10.7	-18.3
	2008/3末見込	3.1	8.4	49.6	30.5	8.4	-16.4
関東	2007/1 (前回)	17.8	29.5	33.0	17.4	2.2	21.6
	2007/8 (今回)	13.8	25.3	39.8	16.9	2.9	15.2
	2008/3末見込	10.3	28.1	43.3	13.8	2.4	15.1
甲信越・北陸	2007/1 (前回)	11.7	31.2	22.1	24.7	9.1	5.8
	2007/8 (今回)	12.7	19.0	35.4	21.5	7.6	3.8
	2008/3末見込	7.6	22.8	38.0	19.0	6.3	3.2
東海	2007/1 (前回)	12.7	27.6	38.7	14.9	4.8	14.3
	2007/8 (今回)	11.9	26.9	36.6	20.7	3.1	11.9
	2008/3末見込	8.8	27.8	42.7	18.5	0.9	12.6
近畿	2007/1 (前回)	13.5	27.5	35.5	18.4	4.5	13.5
	2007/8 (今回)	14.0	24.5	42.2	15.3	3.8	14.8
	2008/3末見込	8.9	27.4	46.2	15.6	1.1	13.7
中国	2007/1 (前回)	10.8	18.9	33.3	27.0	9.0	-2.3
	2007/8 (今回)	11.8	18.3	28.0	35.5	6.5	-3.2
	2008/3末見込	5.4	19.4	34.4	37.6	2.2	-5.9
四国	2007/1 (前回)	5.6	11.1	40.7	33.3	9.3	-14.8
	2007/8 (今回)	9.3	16.7	33.3	29.6	11.1	-8.3
	2008/3末見込	9.3	13.0	37.0	25.9	13.0	-10.2
九州・沖縄	2007/1 (前回)	6.2	27.7	46.2	18.5	1.5	9.2
	2007/8 (今回)	5.1	18.6	44.1	30.5	1.7	-2.5
	2008/3末見込	3.4	16.9	49.2	27.1	3.4	-5.1

(注) 業況判断D. I. は次の算式による。(良いと回答した企業数%) + (やや良いと回答した企業数%) × 0.5 - (やや悪いと回答した企業数%) × 0.5 - (悪いと回答した企業数%)

### 業況判断D. I. の推移 (全国)



2. 売上及び経常損益

(構成比:%、D.I.)

		売 上				経 常 損 益			
		増収	不変	減収	D. I.	増益	不変	減益	D. I.
全国	2005年度実績 (前回)	60.9	16.4	21.9	39.0	51.6	16.6	31.2	20.4
	2006年度実績 (今回)	61.6	16.8	20.8	40.7	49.0	17.4	32.5	16.6
	2007年度見込 (今回)	50.0	33.0	15.9	34.2	39.9	35.3	23.7	16.2
北海道	2005年度実績 (前回)	46.6	22.7	29.5	17.0	31.8	26.1	40.9	-9.1
	2006年度実績 (今回)	44.6	21.6	33.8	10.8	27.1	23.0	50.0	-23.0
	2007年度見込 (今回)	35.1	33.8	31.1	4.1	31.1	35.1	33.8	-2.7
東北	2005年度実績 (前回)	37.0	31.9	30.2	6.7	43.7	18.5	37.8	5.9
	2006年度実績 (今回)	44.3	22.1	33.6	10.7	34.4	22.9	42.8	-8.4
	2007年度見込 (今回)	32.1	40.5	26.0	6.1	21.3	49.6	29.1	-7.6
関東	2005年度実績 (前回)	65.1	13.3	20.4	44.6	58.4	14.0	26.4	32.0
	2006年度実績 (今回)	59.6	18.9	20.0	39.6	50.1	14.9	33.0	17.1
	2007年度見込 (今回)	57.6	31.9	8.8	48.8	48.6	30.8	18.7	29.9
甲信越 ・ 北陸	2005年度実績 (前回)	61.6	9.6	28.8	32.9	41.1	20.5	38.3	2.7
	2006年度実績 (今回)	64.6	15.2	19.0	45.6	54.4	16.5	27.8	26.6
	2007年度見込 (今回)	41.7	38.0	16.5	25.3	35.5	40.5	21.5	13.9
東海	2005年度実績 (前回)	71.9	13.4	14.6	57.3	55.1	14.6	30.2	24.9
	2006年度実績 (今回)	69.6	14.1	15.8	53.7	48.9	19.8	30.9	18.1
	2007年度見込 (今回)	56.4	27.8	15.0	41.4	44.9	31.3	23.3	21.6
近畿	2005年度実績 (前回)	61.3	15.0	22.2	39.1	54.1	13.3	31.4	22.7
	2006年度実績 (今回)	68.8	15.1	15.9	53.0	58.4	14.8	26.3	32.0
	2007年度見込 (今回)	52.4	32.5	14.8	37.6	43.0	36.6	19.9	23.1
中国	2005年度実績 (前回)	63.8	16.7	19.4	44.4	49.0	20.4	30.6	18.5
	2006年度実績 (今回)	62.4	12.9	24.7	37.6	39.8	28.0	31.2	8.6
	2007年度見込 (今回)	44.1	32.3	23.6	20.4	32.2	32.3	34.4	-2.2
四国	2005年度実績 (前回)	46.7	17.7	35.5	11.3	29.0	24.2	46.8	-17.7
	2006年度実績 (今回)	46.3	18.5	35.2	11.1	46.3	13.0	40.7	5.6
	2007年度見込 (今回)	35.2	40.7	24.1	11.1	26.0	33.3	40.7	-14.8
九州 ・ 沖縄	2005年度実績 (前回)	62.3	15.3	22.3	40.0	57.6	14.1	28.3	29.4
	2006年度実績 (今回)	64.4	13.6	22.1	42.4	47.4	16.9	35.6	11.9
	2007年度見込 (今回)	44.0	35.6	20.3	23.7	25.4	37.3	37.3	-11.9

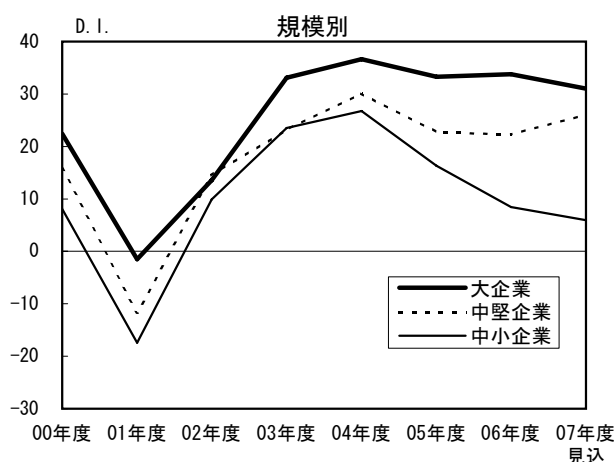
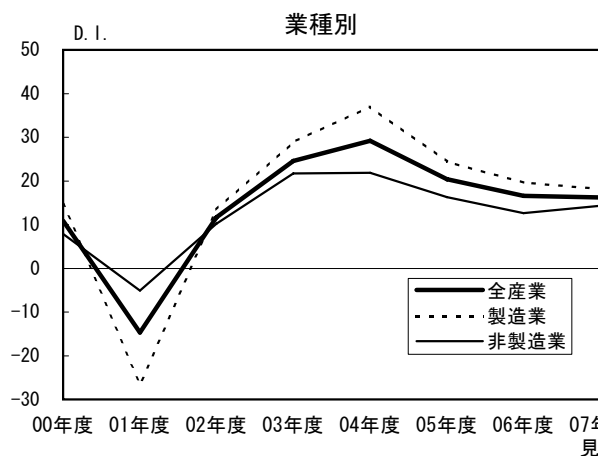
(注1) 増収(増益)は、「連続増収(増益)」と「増収(増益)に転じる」企業の合計。

減収(減益)は、「連続減収(減益)」と「減収(減益)に転じる」企業の合計。

(注2) D. I. は、(連続増収(増益)と回答したの企業数%) + (増収(増益)に転じると回答した企業数%)

- (減収(減益)に転じると回答した企業数%) - (連続減収(減益)と回答した企業数%)

損益判断D. I. の推移(全国)



### 3. 従業員数の増減

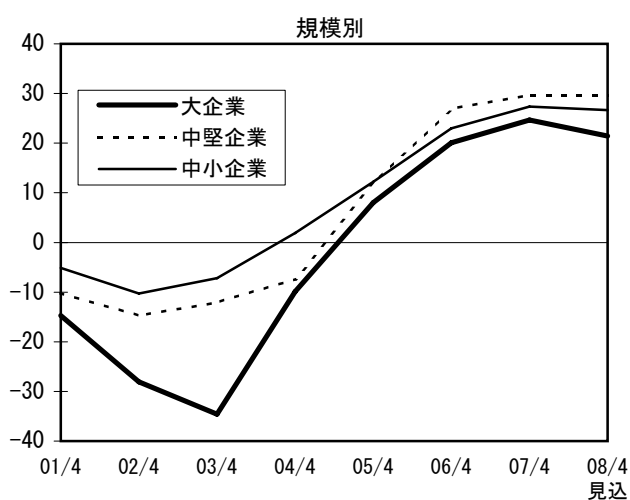
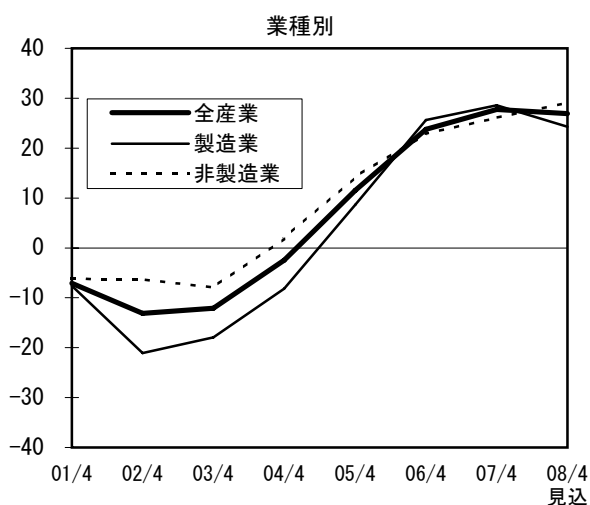
(構成比: %, D.I.)

		増やした(す)	横ばい	削減した(する)	従業員数増減 D. I.
全国	2006/4実績 (前回)	37.2	47.9	13.4	23.8
	2007/4実績 (今回)	40.9	44.3	13.1	27.7
	2008/4見込 (今回)	34.8	55.0	7.9	26.9
北海道	2006/4実績 (前回)	37.7	44.2	18.2	19.5
	2007/4実績 (今回)	28.4	55.4	16.2	12.2
	2008/4見込 (今回)	29.7	54.1	14.9	14.9
東北	2006/4実績 (前回)	31.9	60.5	7.6	24.4
	2007/4実績 (今回)	25.2	61.1	12.2	13.0
	2008/4見込 (今回)	23.7	65.6	9.2	14.5
関東	2006/4実績 (前回)	40.9	44.8	13.0	27.9
	2007/4実績 (今回)	41.3	43.3	13.2	28.1
	2008/4見込 (今回)	39.1	50.3	7.5	31.7
甲信越 ・ 北陸	2006/4実績 (前回)	48.1	33.8	16.9	31.2
	2007/4実績 (今回)	40.5	40.5	15.2	25.3
	2008/4見込 (今回)	31.6	58.2	6.3	25.3
東海	2006/4実績 (前回)	41.0	47.3	9.2	31.7
	2007/4実績 (今回)	52.9	34.4	11.0	41.9
	2008/4見込 (今回)	42.7	48.5	7.0	35.7
近畿	2006/4実績 (前回)	34.4	46.9	17.4	17.0
	2007/4実績 (今回)	41.4	41.4	15.9	25.5
	2008/4見込 (今回)	32.8	57.0	7.8	25.0
中国	2006/4実績 (前回)	32.4	55.9	9.9	22.5
	2007/4実績 (今回)	44.1	45.2	9.7	34.4
	2008/4見込 (今回)	32.3	59.1	6.5	25.8
四国	2006/4実績 (前回)	33.3	53.7	11.1	22.2
	2007/4実績 (今回)	44.4	40.7	13.0	31.5
	2008/4見込 (今回)	29.6	64.8	3.7	25.9
九州 ・ 沖縄	2006/4実績 (前回)	27.7	56.9	12.3	15.4
	2007/4実績 (今回)	28.8	57.6	11.9	17.0
	2008/4見込 (今回)	25.4	61.0	11.9	13.6

(注) 従業員増減D. I. は次の算式による。

(従業員を増やした(す)と回答した企業数%) - (従業員を削減した(する)と回答した企業数%)

### 従業員増減D. I. の推移 (全国)



# ニッセイ景況アンケート調査票 (2007年度上期)

◆お手数ですが下記の項目について該当する番号を□欄にご記入下さい。

**(1) 従業員数について(パート・アルバイト含まず)**

- ①100名以下 ②300名以下 ③500名以下 ④1,000名以下 ⑤3,000名以下 ⑥3,000名超

—◇従業員数の増減について(対前年比)

- ①増やした(す) ②横ばい ③削減した(する)

H19/4実績 □ H20/4見込 □

**(2) 業況について**

- ①良い ②やや良い ③ふつう ④やや悪い ⑤悪い

現在 □ H20/3末見込 □

**(3) 売上について**

- ①連続増収 ②増収に転じた(る) ③前年並み ④減収に転じた(る) ⑤連続減収

H18年度実績 □ H19年度見込 □

**(4) 経常損益について**

- ①連続増益 ②増益に転じた(る) ③前年並み ④減益に転じた(る) ⑤連続減益

H18年度実績 □ H19年度見込 □

**(5) 現在の金融機関の貸出態度について**

- ①ゆるい ②ややゆるい ③ふつう ④やや厳しい ⑤厳しい

□

**(6) 金融機関との取引関係の変化について**

- ①取引金融機関を増やした(す) ②取引金融機関を減らした(す)  
③メインバンクを変えた(る) ④特に変化なし

直近1年 □ 今 後 □

—◇(①または②または③とご回答の場合)取引関係変更の理由(主なもの2つまで)

- ①有利な借入条件 ②円滑な資金調達 ③効果的な経営相談  
④社会的信頼性の向上 ⑤取引機関数の適正化 ⑥その他( )

□ □

**(7) 設備投資について**

—◇設備投資金額について(前年度と比べ)

- ①増加した(する) ②やや増加した(する) ③横ばい ④やや減少した(する) ⑤減少した(する)

H18年度実績 □ H19年度見込 □

—◇設備投資目的について(主なもの2つまで)

- ①生産・販売能力増強 ②製(商)品・サービスの向上 ③省力・合理化  
④経営多角化 ⑤研究・開発 ⑥設備の更新維持 ⑦M&A ⑧その他( )

□ □

**(8) 今後必要となる経営資金について**

- 〈資金用途〉①生産設備資金 ②営業販売施設資金 ③運転資金 ④研究開発設備資金  
⑤M&A資金 ⑥その他( )

- 〈調達方法〉①自己資金 ②民間金融機関からの借入 ③政府系金融機関からの制度融資  
④株式発行 ⑤社債発行 ⑥リース・割賦 ⑦グループ会社間ファイナンス  
⑧その他( ) ⑨未定

資金用途	時 期			総 額 百万円程度	調達方法 (複数可)
	今年度上期	今年度下期	来年度以降		

—◇(調達方法で②をご回答の場合)借入決定する場合に重視する要素(主なもの2つまで)

- ①借入条件 ②貸手の信用力・安定性 ③過去からの継続的取引(メイン・株主等)  
④コンサルティング力 ⑤情報提供力 ⑥その他( )

□ □

**(9) (非上場企業様にお伺いします)株式の上場について**

- ①計画・検討している ②過去に計画・検討していた  
③現在、検討していないが、今後の経営課題となりうる ④予定なし

□

**(10) 今後の金利水準見通しについて(H20/3末見通しについてご意見をお聞かせ下さい。)**

- ①上がる ②横ばい ③下がる

□

**(11) 興味のあるまたは実施を検討されているファイナンス手法を教えてください。(主なもの2つまで)**

- ①シンジケートローン ②コミットメントライン ③私募債 ④流動化(大数プール)  
⑤流動化(個別債権) ⑥その他( ) ⑦検討していない

□ □

—◇(実施予定の場合)実施予定時期・金額・取り扱い金融機関について

- 〈金融機関〉①都市銀行 ②地方銀行 ③証券会社 ④生命保険会社 ⑤未定

時 期	総 額 百万円程度	金融機関 (複数可)

**(12) 現在、注力している経営指標について**

- ①ROE ②ROA ③売上高利益率 ④自己資本比率 ⑤(ネット)DER ⑥配当性向  
⑦その他( )

□